

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

地元の作り手の方の協力をいただきながら、有形民俗文化財であるツーロ制作を通して、地域に伝わる歴史や文化について理解を深めていった。また、地域へ情報発信する機会として、学習発表会や公共施設にて展示することを目標とした。児童は学習を通して、地域に伝わる有形民俗文化財について自分なりの考えをもつことができた。市広報や新聞投稿も行い、広く情報発信を行った。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



作成の様子①



作成の様子②



学習発表会での展示発表



里港ターミナルでの展示発表

8 参加児童・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【3・4年生児童】

- ・ 私はツーロのことを全く知りませんでした。実際に作ってみたら、思っていたより難しかったです。特に切り絵が細かくて大変でした。
- ・ 今年のお盆はおばさんの初盆で、ぼくの家もツーロを準備しました。学校で作ってみてとても大変と感じたけど、鹿島の大切な文化だと思いました。

【教職員】

- ・ 今年度初めて取り組んだが、児童の興味関心は高く、細かい作業に集中して取り組み、徐々に完成する過程を楽しむことができた。また、学習発表会やフェリーターミナルでの展示、新聞投稿等、地域への情報発信ができ、広く周知できた。今後、学習過程を精選し、児童にとって地域の歴史や文化について学ぶテーマ学習へと発展させていきたい。